

令和 8 年 7 月 1 7 日

川西市議会議長 様

会派（呼称）名 連合かわにし市民の会

議 員 名 福西 勝

※議員名欄は署名又は記名

管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

1 調査者氏名

川北 将 福西 勝

2 調 査 先

宝塚市

3 調 査 期 間

令和 8 年 7 月 1 4 日

4 調査結果の概要

別紙のとおり

人口が減少することで使用水量が減少し、今後の上下水道事業は限られた収入で維持管理を行っていく時代となりました。

そこで、国でも広域化の考えが示されている観点から、お隣の宝塚市の水道事業を視察に行きました。

宝塚市の水道事業の歴史から説明がありました。

とても丁寧でわかりやすかったです。

平成 29 年には 2 浄水場を廃止し阪神水道企業団からの給水を開始されました。

その他には県営水道と自己水は小浜浄水場と惣川浄水場があります。

川西市と違って相互利用ができることは取水制限が起こっても、他の水源から給水が可能であることはリスクが少ないと受け止めました。

今後は安価な阪神水道の給水地域を増やしていく方向性が確認できました

また、川西市に近い雲雀丘花屋敷駅周辺は小浜浄水場から全長 9 km あり、非効率な送水と、想定使用年数を超えての送水管は延長の約 9 割が非耐震管であり問題点が大きな課題と受け止めました。

萩原台配水池から花屋敷の山側へ供給することが考えられます。

また久代浄水場から雲雀丘花屋敷駅周辺へ供給することも考えられます。

改めて近隣自治体との連携の必要性を実感しました。